

原安第290号

令和7年8月5日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について（通知）

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

1 玄海原子力発電所3号機の通常運転復帰について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年7月10日付け 立コミ本第159号〕・・・別添1

2 玄海原子力発電所4号機 第17回定期検査の実施について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年7月18日付け 立コミ本第175号〕・・・別添2

3 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年7月29日付け 立コミ本第181号〕・・・別添3

4 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2025年7月31日付け 立コミ本第186号〕・・・別添4



別 添 1

立コミ本第159号

2025年7月10日

佐 賀 県 知 事
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員

西 山



玄海原子力発電所3号機の通常運転復帰について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社玄海原子力発電所3号機は、2025年6月15日に発電を再開後、徐々に出力を上昇させ、定格熱出力一定運転にて、調整運転を実施してまいりましたが、7月10日、総合負荷性能検査を終了し、通常運転に復帰いたしましたので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

別 添 2

立コミ本第175号

2025年7月18日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

西山



玄海原子力発電所4号機 第17回定期検査の実施について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社玄海原子力発電所4号機は、別紙のとおり第17回定期検査を実施いたしますので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づきご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

玄海原子力発電所4号機 第17回定期検査計画の概要

1. 計画工程

- (1) 2025年 7月27日 発電停止
- (2) 2025年 9月30日 臨 界
- (3) 2025年10月 2日 発電再開
- (4) 2025年10月28日 通常運転復帰

2. 主要検査及び点検計画

以下の設備について、付表－1「玄海原子力発電所4号機 第17回定期検査（定期事業者検査）計画の概要」に示す定期事業者検査を実施する。

- (1) 原子炉設備
- (2) タービン設備
- (3) 電気設備
- (4) 制御設備
- (5) 放射性廃棄物貯蔵、処理設備

3. 定期事業者検査項目

付表－2「玄海原子力発電所4号機 第17回定期事業者検査項目」に示す定期事業者検査を実施する。

4. 定期事業者検査体制

付表－3「玄海原子力発電所4号機 第17回定期事業者検査体制」に示す体制で定期事業者検査を実施する。

5. 定期検査中の線量管理計画

第17回定期検査実施にあたり過去の定期検査の実績を踏まえ、作業環境の整理等により、外部被ばく線量を極力低減するよう努力するとともに、内部被ばくを生じないよう管理を行う。

(1) 予想総線量：約0.40人・Sv

(2) 作業件名毎に、作業内容、作業環境、作業方法、過去の作業実績等を考慮して計画線量を設定し、線量管理を行う。

(参考) 実効線量限度(法令)：100mSv/5年

(ただし、50mSv/年を超えてはならない)

(3) 呼吸保護具の着用等により、内部被ばく管理の徹底を行う。

6. 定期検査期間中に実施する主な工事

(1) 燃料の取替え

燃料集合体193体のうち、一部を新燃料に取り替える。

以 上

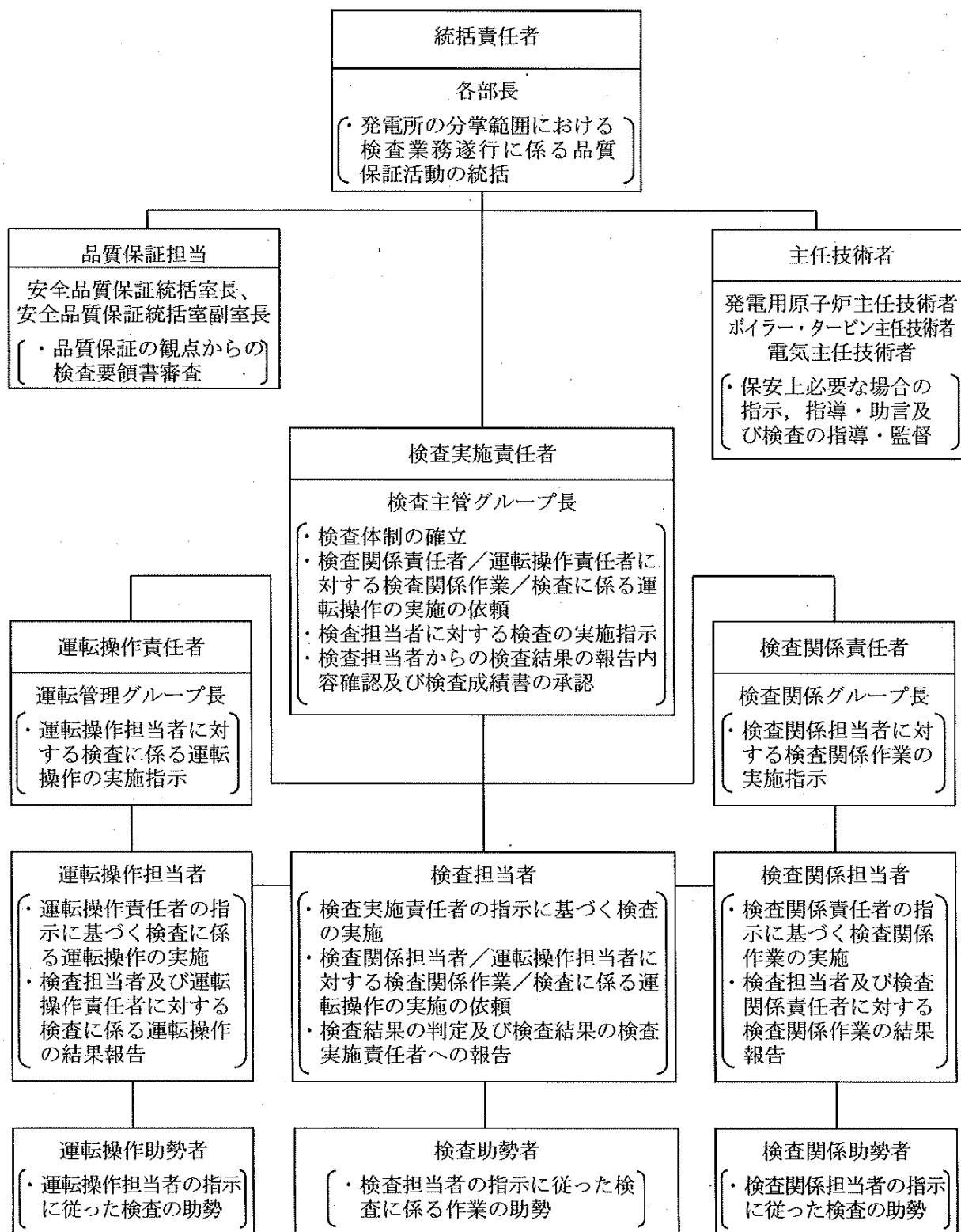
玄海原子力発電所 4 号機 第 17 回定期検査 (定期事業者検査) 計画の概要

項 目	作 業 内 容
原子炉設備	原子炉本体 上部蓋及び上部炉心構造物を取外し、目視検査等により溶接部、スタッドボルト等の点検を実施する。
	蒸気発生器 伝熱管 (細管) についてロボット式渦流探傷装置を使用して検査を実施する。
	燃 料 原子炉内の燃料全数を使用済燃料ピットに移送し、水中テレビ等により燃料の健全性を確認するとともに、燃料の取替えを実施する。
	付属機器 加圧器安全弁、加圧器逃がし弁及び原子炉格納容器隔離弁の検査等を実施する。 ポンプ、換気設備、熱交換器、配管及び弁類等付属機器の分解点検を実施するとともに格納容器の漏えい率検査を実施する。
タービン設備	本 体 タービンの開放点検を実施する。
	付属機器 主蒸気安全弁、主蒸気逃がし弁検査、その他主要弁開閉検査、機器配管弁類等の機能検査を実施する。
電気設備	発電機 発電機本体及び励磁機の点検を行うとともに非常用予備発電装置機能検査を実施する。
	付属機器 変圧器、しゃ断器等の点検を実施する。
制御設備	原子炉系 安全保護系、放射線監視装置、制御棒駆動系及び制御用空気圧縮系等の機能検査を実施する。 その他炉内計装装置及び一次系制御装置等の検査を実施する。
放射性廃棄物貯蔵、 処理設備	廃棄物処理系 液体廃棄物処理系の機能検査等を実施する。
プラント総合	
定格熱出力一定運転時におけるプラントの運転状況を確認するために、総合負荷性能検査を実施する。	

玄海原子力発電所4号機 第17回定期事業者検査項目

No.	要領番号	定期事業者検査名	備考	No.	要領番号	定期事業者検査名	備考	No.	要領番号	定期事業者検査名	備考
1	1	クラス1機器供用期間中検査		62	91	1次冷却材ポンプメカニカルオーバーホール分解検査		201-1		重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
2	2	燃料集合体外部検査		63	92	1次冷却剤交換検査	※2	201-2		重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
3	3	燃料集合体内部配管検査		64	93	1次冷却材ポンプ機能検査	※2	201-3	91	重大事故等クラス2機器供用期間中検査	
4	4	原子炉停止余裕検査		65	94	1次冷却剤ポンプ機能検査	※2	201-4		重大事故等クラス2機器供用期間中検査	※2
5	5	クラス2機器供用期間中検査		95-96		燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	※3	201-5		重大事故等クラス2機器供用期間中検査	※2
6	6	熱気化器伝感器体組検査		97	95	燃料取扱設備検査(動作・インターロック試験等)	※3	202		使用燃料貯蔵槽精製冷却水系統機能検査	
7	8	加圧安全弁機能検査		98	96	液体廃棄物処理系統機能検査	※3	203-1		その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	
8	9	加圧安全弁機能検査		99	97	液体廃棄物処理系統機能検査	※3	203-2		その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	※2
9	10	加圧安全弁全弁検査		100	98	クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査		204		その他原子炉注水系統主要弁分解検査	
10	11	加圧安全弁全弁検査		101	99	超臨界安全性検査		205-1		その他原子炉注水系統機能検査	
11	12	加圧安全弁全弁検査		102	100	超臨界安全性検査		205-2		その他原子炉注水系統機能検査	
12	13	加圧安全弁全弁検査		103	101	超臨界安全性検査	※2	206		最終ヒートシンク熱輸送設備自動検査	
13	14	加圧安全弁全弁検査		104	102	超臨界安全性検査	※2	207		重大事故時安全停止回帰機能検査	
14	15	原子炉格納容器系統機能検査		105	103	プレストレストコンクリート格納容器供用期間中検査	※2	208		プロセモニタ機能検査	
15	16	非常用炉心冷却系統機能検査		106	104	燃料取扱設備検査		209-1		エリアモニタ機能検査	
16	17	非常用炉心冷却系統ポンプ分解検査		107	105	燃料取扱設備検査	※3	209-2		エリアモニタ機能検査	
17	18	非常用炉心冷却系統主要弁分解検査		108	106	燃料取扱設備検査		210		緊急時制御室格納容器系統機能検査	
18	23	補助給水系統機能検査		109	107	燃料取扱設備検査		211		緊急時制御室非常用空気浄化系統機能検査	※1
19	24	補助給水系統ポンプ分解検査		110	108	燃料取扱設備検査		212		緊急時制御室非常用空気浄化系統ポンプ機能検査	
20	25	主蒸気安全弁機能検査		111	109	燃料取扱設備検査	※2	213		緊急時制御室非常用空気浄化系統ポンプ機能検査	※1
21	26	主蒸気安全弁機能検査		112	110	燃料取扱設備検査	※2	214		中央制御室の居住性確認検査	※1
22	27	主蒸気安全弁機能検査		113	111	安全圧縮系統機能検査(バーミッシュプロシージャ検査)		215		緊急時制御室の居住性確認検査	
23	28	主蒸気安全弁機能検査		114	112	インバータ機能検査		216		緊急時制御室の居住性確認検査	※1
24	29	主蒸気安全弁機能検査		115	113	インバータ機能検査		217		緊急時制御室の居住性確認検査	
25	30	補助給水系統機能検査		116	114	燃料取扱設備検査	※2	218		圧力逃がし系フィルター機能検査	※2
26	31	ほうげんポンプ分解検査		117	115	燃料取扱設備検査	※2	219		可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
27	32	制御用空気圧縮系統機能検査		118	116	燃料取扱設備検査	※3	220		その他非常用電圧装置の分解検査	※2
28	33	安全係数系統機能検査		119	117	燃料取扱設備検査	※3	221-1		その他非常用電圧装置の分解検査	
29	34	安全係数系統機能検査		120	118	燃料取扱設備検査	※3	221-2		その他非常用電圧装置の分解検査	
30	35-1	プラント状態監視設備機能検査		121	119	燃料取扱設備検査	※3	222-1		直流電源系統機能検査	
31	35-2	プラント状態監視設備機能検査		122	120	燃料取扱設備検査	※3	222-2		直流電源系統機能検査	
32	36	燃料取扱設備機能検査		123	121	燃料取扱設備検査	※3	223-1		直流電源系統機能検査	
33	38	アニュラス循環排気系統機能検査		124	122	燃料取扱設備検査	※3	223-2		直流電源系統機能検査	
34	39	アニュラス循環排気系統機能検査		125	123	燃料取扱設備検査	※3	224		直流電源系統機能検査	
35	40	中央制御室非常用南極系統機能検査		126	124	燃料取扱設備検査	※3	225		可搬型無人事故等対処設備機能検査	※1
36	41	中央制御室非常用南極系統機能検査		127	125	燃料取扱設備検査	※3	226		可搬型無人事故等対処設備機能検査	※1
37	42	気体廃棄物処理系統機能検査		128	126	燃料取扱設備検査	※3	227		可搬型無人事故等対処設備機能検査	※1
38	43	原子炉格納容器全体機能検査		129	127	燃料取扱設備検査	※3	228		重大事故等クラス3機器供用期間中検査	※2
39	44	原子炉格納容器全体機能検査		130	128	燃料取扱設備検査	※3				
40	45	原子炉格納容器全体機能検査		131	129	燃料取扱設備検査	※3				
41	46	原子炉格納容器全体機能検査		132	130	燃料取扱設備検査	※3				
42	47	原子炉格納容器全体機能検査		133	131	燃料取扱設備検査	※3				
43	48	原子炉格納容器全体機能検査		134	132	燃料取扱設備検査	※3				
44	49	原子炉格納容器全体機能検査		135	133	燃料取扱設備検査	※3				
45	50	原子炉格納容器全体機能検査		136	134	燃料取扱設備検査	※3				
46	51	原子炉格納容器全体機能検査		137	135	燃料取扱設備検査	※3				
47	52	原子炉格納容器全体機能検査		138	136	燃料取扱設備検査	※3				
48	53	原子炉格納容器全体機能検査		139	137	燃料取扱設備検査	※3				
49	54	原子炉格納容器全体機能検査		140	138	燃料取扱設備検査	※3				
50	55	原子炉格納容器全体機能検査		141	139	燃料取扱設備検査	※3				
51	56	原子炉格納容器全体機能検査		142	140	燃料取扱設備検査	※3				
52	57	原子炉格納容器全体機能検査		143	141	燃料取扱設備検査	※3				
53	58	原子炉格納容器全体機能検査		144	142	燃料取扱設備検査	※3				
54	59	原子炉格納容器全体機能検査		145	143	燃料取扱設備検査	※3				
55	60	原子炉格納容器全体機能検査		146	144	燃料取扱設備検査	※3				
56	61	原子炉格納容器全体機能検査		147	145	燃料取扱設備検査	※3				
57	62	原子炉格納容器全体機能検査		148	146	燃料取扱設備検査	※3				
58	63	原子炉格納容器全体機能検査		149	147	燃料取扱設備検査	※3				
59	64	原子炉格納容器全体機能検査		150	148	燃料取扱設備検査	※3				
60	65	原子炉格納容器全体機能検査		151	149	燃料取扱設備検査	※3				
61	66	原子炉格納容器全体機能検査		152	150	燃料取扱設備検査	※3				
62	67	原子炉格納容器全体機能検査		153	151	燃料取扱設備検査	※3				
63	68	原子炉格納容器全体機能検査		154	152	燃料取扱設備検査	※3				
64	69	原子炉格納容器全体機能検査		155	153	燃料取扱設備検査	※3				
65	70	原子炉格納容器全体機能検査		156	154	燃料取扱設備検査	※3				
66	71	原子炉格納容器全体機能検査		157	155	燃料取扱設備検査	※3				
67	72	原子炉格納容器全体機能検査		158	156	燃料取扱設備検査	※3				
68	73	原子炉格納容器全体機能検査		159	157	燃料取扱設備検査	※3				
69	74	原子炉格納容器全体機能検査		160	158	燃料取扱設備検査	※3				
70	75	原子炉格納容器全体機能検査		161	159	燃料取扱設備検査	※3				
71	76	原子炉格納容器全体機能検査		162	160	燃料取扱設備検査	※3				
72	77	原子炉格納容器全体機能検査		163	161	燃料取扱設備検査	※3				
73	78	原子炉格納容器全体機能検査		164	162	燃料取扱設備検査	※3				
74	79	原子炉格納容器全体機能検査		165	163	燃料取扱設備検査	※3				
75	80	原子炉格納容器全体機能検査		166	164	燃料取扱設備検査	※3				
76	81	原子炉格納容器全体機能検査		167	165	燃料取扱設備検査	※3				
77	82	原子炉格納容器全体機能検査		168	166	燃料取扱設備検査	※3				
78	83	原子炉格納容器全体機能検査		169	167	燃料取扱設備検査	※3				
79	84	原子炉格納容器全体機能検査		170	168	燃料取扱設備検査	※3				
80	85	原子炉格納容器全体機能検査		171	169	燃料取扱設備検査	※3				
81	86	原子炉格納容器全体機能検査		172	170	燃料取扱設備検査	※3				
82	87	原子炉格納容器全体機能検査		173	171	燃料取扱設備検査	※3				
83	88	原子炉格納容器全体機能検査		174	172	燃料取扱設備検査	※3				
84	89	原子炉格納容器全体機能検査		175	173	燃料取扱設備検査	※3				
85	90	原子炉格納容器全体機能検査		176	174	燃料取扱設備検査	※3				
86	91	原子炉格納容器全体機能検査		177	175	燃料取扱設備検査	※3				
87	92	原子炉格納容器全体機能検査		178	176	燃料取扱設備検査	※3				
88	93	原子炉格納容器全体機能検査		179	177	燃料取扱設備検査	※3				
89	94	原子炉格納容器全体機能検査		180	178	燃料取扱設備検査	※3				
90	95	原子炉格納容器全体機能検査		181	179	燃料取扱設備検査	※3				
91	96	原子炉格納容器全体機能検査		182	180	燃料取扱設備検査	※3				
92	97	原子炉格納容器全体機能検査		183	181	燃料取扱設備検査	※3				
93	98	原子炉格納容器全体機能検査		184	182	燃料取扱設備検査	※3				
94	99	原子炉格納容器全体機能検査		185	183	燃料取扱設備検査	※3				
95	100	原子炉格納容器全体機能検査		186	184	燃料取扱設備検査	※3				
96	101	原子炉格納容器全体機能検査		187	185	燃料取扱設備検査	※3				
97	102	原子炉格納容器全体機能検査		188	186	燃料取扱設備検査	※3				
98	103	原子炉格納容器全体機能検査		189	187	燃料取扱設備検査	※3				
99	104	原子炉格納容器全体機能検査		190	188	燃料取扱設備検査	※3				
100	105	原子炉格納容器全体機能検査		191	189	燃料取扱設備検査	※3				
101	106	原子炉格納容器全体機能検査		192	190	燃料取扱設備検査	※3				
102	107	原子炉格納容器全体機能検査		193	191	燃料取扱設備検査	※3				
103	108	原子炉格納容器全体機能検査		194	192	燃料取扱設備検査	※3				
104	109	原子炉格納容器全体機能検査		195	193	燃料取扱設備検査	※3				
105	110	原子炉格納容器全体機能検査		196	194	燃料取扱設備検査	※3				
106	111	原子炉格納容器全体機能検査		197	195	燃料取扱設備検査	※3				
107	112	原子炉格納容器全体機能検査		198	196	燃料取扱設備検査	※3				
108	113	原子炉格納容器全体機能検査		199	197	燃料取扱設備検査	※3				
109	114	原子炉格納容器全体機能検査		200	198	燃料取扱設備検査	※3				
110	115	原子炉格納容器全体機能検査		201	199	燃料取扱設備検査	※3				
111	116	原子炉格納容器全体機能検査		202	200	燃料取扱設備検査	※3				
112	117	原子炉格納容器全体機能検査		203	201	燃料取扱設備検査	※3				
113	118	原子炉格納容器全体機能検査		204	202	燃料取扱設備検査	※3				
114	119	原子炉格納容器全体機能検査		205	203	燃料取扱設備検査	※3				
115	120	原子炉格納容器全体機能検査		206	204	燃料取扱設備検査	※3				
116	121	原子炉格納容器全体機能検査		207	205	燃料取扱設備検査	※3				
117	122	原子炉格納容器全体機能検査		208	206	燃料取扱設備検査	※3				
118	123	原子炉格納容器全体機能検査		209	207	燃料取扱設備検査	※3				
119	124	原子炉格納容器全体機能検査		210	208	燃料取扱設備検査	※3				
120	125	原子炉格納容器全体機能検査		211	209	燃料取扱設備検査	※3				
121	126	原子炉格納容器全体機能検査		212	210	燃料取扱設備検査	※3				
122	127	原子炉格納容器全体機能検査		213	211	燃料取扱設備検査	※3				
123	128	原子炉格納容器全体機能検査		214	212	燃料取扱設備検査	※3				
124	129	原子炉格納容器全体機能検査		215	213	燃料取扱設備検査	※3				
125	130	原子炉格納容器全体機能検査		216	214	燃料取扱設備検査	※3				
126	131	原子炉格納容器全体機能検査		217	215	燃料取扱設備検査	※3				
127	132	原子炉格納容器全体機能検査		218	216	燃料取扱設備検査	※3				
128	133	原子炉格納容器全体機能検査		219	217	燃料取扱設備検査	※3				
129	134	原子炉格納容器全体機能検査		220	218	燃料取扱設備検査	※3				
130	135	原子炉格納容器全体機能検査		221	219	燃料取扱設備検査	※3				
131	136	原子炉格納容器全体機能検査		222	220	燃料取扱設備検査	※3				
132	137	原子炉格納容器全体機能検査		223	221	燃料取扱設備検査	※3				
133	138	原子炉格納容器全体機能検査		224	222	燃料取扱設備検査	※3				
134	139	原子炉格納容器全体機能検査		225	223	燃料取扱設備検査	※3				
135	140	原子炉格納容器全体機能検査		226	224	燃料取扱設備検査	※3				

玄海原子力発電所4号機 第17回定期事業者検査体制



(注) 個々の検査体制については、定期事業者検査実施要領書に定める。
主な役務内容を括弧内に示す。

別 添 3

立コミ本第181号

2025年7月29日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

西山



協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますので御査収ください。

敬具

報告書内容

1. 核燃料物質の受入状況

(その都度)

以 上

核燃料物質の受入状況

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
受入工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		玄海原子力発電所 第3号炉
受入年月日		2025年7月23日(16体)(原燃工)
受入数量		16体(原燃工:16体)
払出工場又は事業所	名称	原子燃料工業株式会社
	所在地	大阪府泉南郡熊取町朝代西一丁目950番地
運搬者名		原子燃料工業株式会社(輸送総括)
化合物又は混合物の名称 及びその形状		二酸化ウラン 燃料集合体 ガドリニア入り二酸化ウラン 燃料集合体
受入の原因		原子炉で燃料として使用するため

(参考資料)

核燃料物質の受入について

2025年7月23日に玄海原子力発電所へ受入れた新燃料に係わる供給当事国は下記のとおりです。

記

1. 原子炉名

玄海原子力発電所 第3号炉

2. 国際規制物資の供給当事国

カナダ・アメリカ、
カナダ・アメリカ・ユーラトム、
カナダ・ユーラトム、
イギリス、
イギリス・ユーラトム、
アメリカ・ユーラトム

以 上

立コミ本第186号
2025年7月31日

佐賀県知事

山口祥義様

九州電力株式会社
代表取締役
社長執行役員

西山



協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬具

報告書内容

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月報) |
| 2. 発電実績 | (月報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月報) |
| 5. 環境放射能の測定結果
モニタリングポスト | (月報) |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月報) |
| 7. 核燃料物質の管理状況 | (期報) |
| 8. 一次冷却材報告書 | (四半期報) |
| 9. 環境放射能の測定結果
(1) モニタリングポイント | (四半期報) |
| (2) サーベイルート | (期報) |
| (3) 環境試料 | (四半期報) |
| 10. 発電所職員等に対する教育訓練の実施状況 | (四半期報) |

以上

環境保全測定報告書

2025 年 6 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1 ・ 2 号 機	玄海 3 ・ 4 号 機
	0.07	0.08

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1 ・ 2 号 機					玄海 3 ・ 4 号 機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ)*1	浮遊物質 量 (mg/ℓ)*2	油 分 (mg/ℓ)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/ℓ)*1	浮遊物質 量 (mg/ℓ)*2	油 分 (mg/ℓ)*2
6月4日	7.6	0.8	—	—	6月5日	7.3	1.6	—	—
6月11日	7.6	0.5	0.6	検出せず	6月11日	7.3	2.0	—	—
6月18日	7.6	2.0	—	—	6月18日	7.1	1.3	0.1	検出せず
6月25日	7.6	0.8	—	—	6月25日	7.4	1.6	—	—

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)	取水口の温度 (℃)	放水口の温度 (℃)	放水の残留塩素 (mg/ℓ)
6月10日	20.8	19.1	検出せず	19.3	19.6	検出せず	19.4	26.1	検出せず
6月20日	25.2	22.0	検出せず	21.0	27.8	検出せず	21.0	27.7	検出せず
6月30日	28.0	23.5	検出せず	22.7	29.5	検出せず	22.7	29.4	検出せず

発 電 実 績

2025年6月分

九州電力株式会社

号機		※1 1 号 機	※2 2 号 機	3 号 機	4 号 機	発電所合計
最 大 出 力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000
発 電 日 数	日	—	—	16	30	30
発 電 時 間 数	時間	—	—	364	720	720
電 力 量	発 電 端	10 ³ kWh	—	391,257	857,632	1,248,889
	所 内 消 費	10 ³ kWh	1,305	1,361	34,180	33,482
	送 電 端	10 ³ kWh	-1,305	-1,361	357,077	824,150
最 大 電 力	kW	—	—	1,206,000	1,195,000	2,399,000
平均最大電力	kW	—	—	567,267	1,192,900	1,759,733
平 均 電 力	kW	—	—	543,413	1,191,156	1,734,568
負 荷 率	%	—	—	45.1	99.7	72.3
利 用 率	%	—	—	46.1	100.9	73.5

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2025年 6 月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(87) 33,075	324	326	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(113) 42,466	394	487	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(168) 64,681	1,414	595	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(368) 140,223	2,122	1,408	0	0

(注) 2015年4月27日運転終了
() 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

2025年 6月分

初期濃縮度 (%)	炉内量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 (10^{-3} kWd/t)	プルトニウムの量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^{-3} kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	燃焼度 (10^{-3} kWd/t)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(189)	72,769	822	680	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(177)	66,880	754	729	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(84)	33,261	1,168	159	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(450)	172,910	2,744	1,568	0	0

(注) 2019年4月9日運転終了
() 内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2025年

6月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量			月末在庫量 (炉内そう入用)			月末装荷量			炉外取用量			月末在庫量 (払出用)			熱 消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)	ウラン の量 (kg)	235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)	ウラン の量 (kg)	235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)	ウラン の量 (kg)	235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)	ウラン の量 (kg)	235 の 量 (kg)	プルトニウムの 量 (kg)		
2.00	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	(65) 29,209	233	205	0	0
3.50	0	0	---	0	0	---	0	0	0	0	0	0	(18) 7,828	59	91	0	0
4.10 (MOX)	0	0	---	61,800 (140)	1,120	---	86,401 (193)	2,390	449	0	0	0	299,011 (36)	3,369	3,365	4,045	49
4.10 *	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,769	22	1,148	0	0
合計	0	0	0	61,800 (140)	1,120	0	86,401 (193)	2,390	449	0	0	0	350,817 (814)	3,683	4,809	4,045	49

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2025年

6月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

初 期 濃 縮 度 (%)	炉 内 入 量		月 末 在 庫 量 (炉内そう入用)		月 末 装 荷 量				炉 外 取 出 量					月 末 在 庫 量 (払 出 用)			熱 消 費 量 (10 ⁹ kJ)	核 燃 料 物 質 消 費 量 (kg)
	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)	燃 焼 度 (10 ³ kWd/t)	ウ ラ ン の 量 (kg)	ウ ラ ン 235 の 量 (kg)	プ ル ト ニ ウ ム の 量 (kg)			
			(1)										(64)					
2.00	0	0	453	4	0	0	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0	0	
													(64)					
3.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186	286	304	0	0	
			(209)		(193)								(850)					
4.10	0	0	92,814	2,218	84,540	1,482	779	29,489	0	0	0	0	366,334	3,903	4,188	8,815	107	
合 計	0	0	93,267	2,222	84,540	1,482	779	15,103	0	0	0	0	(978)	423,286	4,384	4,712	8,815	107

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

放射性廃棄物の管理状況

2025年6月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
223 (-223)	39, 252

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放 射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 6 月 分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に表示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示す。

放 射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2 0 2 5 年 6 月 分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射性廃棄物の管理状況

2025年6月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平 均 値	最 大 値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に表示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示す。

環境放射能測定結果

(2025 年 6 月分)

2025 年 7 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2025 年 6 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	25	24	24	16	28	24	24
2	37	25	28	17	25	24	24
3	46	24	31	18	25	24	25
4	24	24	24	19	25	24	24
5	25	24	24	20	25	23	24
6	25	24	24	21	24	23	24
7	27	24	25	22	35	24	25
8	29	25	26	23	32	24	25
9	39	25	29	24	44	24	29
10	54	25	33	25	40	24	28
11	32	24	25	26	24	24	24
12	33	24	28	27	25	24	24
13	27	24	25	28	24	23	24
14	27	24	25	29	24	23	24
15	29	24	25	30	24	23	24
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2025 年 6 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	22	22	22	16	25	21	22
2	34	22	25	17	22	22	22
3	41	21	28	18	23	22	22
4	22	21	22	19	22	21	22
5	22	22	22	20	22	21	22
6	23	22	22	21	22	21	21
7	24	22	23	22	31	21	23
8	26	22	23	23	29	22	23
9	35	23	26	24	39	22	27
10	50	22	30	25	35	21	25
11	28	22	23	26	22	22	22
12	29	22	25	27	22	21	22
13	24	22	23	28	22	21	21
14	24	21	22	29	21	21	21
15	27	22	23	30	22	21	21
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2025 年 6 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	23	23	23	16	26	22	23
2	35	23	27	17	23	23	23
3	44	22	29	18	24	22	23
4	23	22	23	19	23	22	23
5	23	23	23	20	23	22	23
6	24	23	23	21	22	22	22
7	25	23	24	22	33	22	24
8	26	23	24	23	31	22	24
9	38	24	27	24	43	22	28
10	53	23	31	25	36	22	26
11	30	22	24	26	23	22	23
12	31	23	26	27	23	22	23
13	25	22	23	28	23	22	22
14	26	22	23	29	23	22	22
15	28	22	23	30	23	22	22
				31	—	—	—

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2025年6月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工 (7月13日)								
除染準備作業									
装置設置									
除染									
片付け（装置撤去）									
(2)汚染状況の調査									
線量当量率測定									
試料採取									
輸送・分析・評価									
(3)汚染のない設備の解体撤去									
(4)使用済燃料搬出									
(5)新燃料搬出									

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染

・実績なし（作業終了：2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2017.8.29～2022.3.18）

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	循環水ポンプ解体撤去工事 ・2025.4.14～実施中 主/所内変圧器解体撤去工事 ・2025.6.9～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	7.8	1365.4	7.8	1365.4	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0	157.1	0	157.1	0

(4) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	240
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	112
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	16
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	64
		搬出量(前月末まで)	64
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	794	0	0	794
均質固化体	0	24	0	0	24
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	0	770	0	0	770

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

今月			累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2025.6.30] (人・mSv)
合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.01	0.00	0.01	200.64

3 その他

・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2017.4.19）以降の1号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2025年6月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)汚染状況の調査						
線量当量率測定						
試料採取						
輸送・分析・評価						
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工（6月29日） A,B湿分分離加熱器 RO装置	タービン建屋内機器保温材 油計量タンク 廃芥搬送装置 バケット吊り装置	復水器真空ポンプ	高圧給水加熱器 C,D湿分分離加熱器 脱気器/湿分分離器逃し弁 スチームコンバータ 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備含む） 復水フィルタ SGBD熱回収装置 薬品ヤード	循環水ポンプ 主/所内変圧器 補給水処理設備 屋外用空気圧縮機 液体窒素供給装置	
(3)使用済燃料搬出						
(4)新燃料搬出						

2 今月の作業実績（注2）

(1) 汚染状況の調査

・実績なし（作業終了：2020.8.17～2023.9.22）

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	循環水ポンプ解体撤去工事 ・2025.4.14～実施中 主/所内変圧器解体撤去工事 ・2025.6.9～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	17.3	1432.2	17.3	1432.2	0
コンクリート類	0	142.0	0	142.0	0
その他	0	184.5	0	184.5	0

(3) 燃料搬出 (注4)

・実績なし

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	254
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	168
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	28
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	84
		搬出量 (前月末まで)	84
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物 (本)	12	626	0	16	610
均質固化体	4	59	0	0	59
充填固化体	0	0	0	0	0
雑 固 体	8	567	0	16	551

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

今月			累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1~2025.6.30] (人・mSv)
合計 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	11.54

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績等を記載する。
- (2) 作業実績がない場合は「実績なし」と記載する。
なお、前月以前に作業を終了している場合は、作業期間を付記する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量（トン数）を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量（当初）」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量（前月末まで）」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数（累計）を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可（2020.3.18）以降の2号機における発生量（発電所全体量の内数）を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量（m³）を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量（m³）を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量（m³）を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、2000ドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量（本数）を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量（本数）を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、2000ドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値（単位：mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁）を集計して記載する。

核燃料物質の管理状況

2025年 1月～6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 1号炉
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事 項		濃 縮 ウ ラ ン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期 首 在 庫		140,223	2,122	1,408
期中増加	受 入 れ	0	0	0
	プルトニウム生成			0
	その他の増加	0	0	0
調 整		0	0	0
計		140,223	2,122	1,408
期中減少	払 出 し	0	0	0
	核 的 損 耗	0	0	
	廃棄又は損失	0	0	0
	事 故 損 失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期 末 在 庫		140,223	2,122	1,408
調 整		0	0	0
計		140,223	2,122	1,408
期 末 保 管 委 託		0	0	0
期 末 運 搬		0	0	0

核燃料物質の管理状況

2025年 1月 ～ 6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 2号炉
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事項		濃縮ウラン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期首在庫		172,910	2,744	1,568
期中増加	受入れ	0	0	0
	プルトニウム生成			0
	その他の増加	0	0	0
調整		0	0	0
計		172,910	2,744	1,568
期中減少	払出し	0	0	0
	核的損耗	0	0	
	廃棄又は損失	0	0	0
	事故損失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期末在庫		172,910	2,744	1,568
調整		0	0	0
計		172,910	2,744	1,568
期末保管委託		0	0	0
期末運搬		0	0	0

核燃料物質の管理状況

2025年 1月 ～ 6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン，プルトニウム及び劣化ウラン
工場又は事業所	名 称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所 在 地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原 子 炉 名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 3号炉
事務上の連絡先	名 称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所 在 地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事 項		濃縮ウラン，プルトニウム及び劣化ウラン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期 首 在 庫		473,657	6,361	5,737
期中増加	受 入 れ	25,790	1,051	0
	プルトニウム生成			72
	その他の増加	0	0	0
調 整		0	0	0
計		499,447	7,412	5,809
期中減少	払 出 し	0	0	0
	核 的 損 耗	430	219	0*
	廃棄又は損失	0	0	0
	事 故 損 失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期 末 在 庫		499,018	7,193	5,809
調 整		-1	0	0
計		499,447	7,412	5,809
期 末 保 管 委 託		0	0	0
期 末 運 搬		0	0	0

* MOX燃料の核的損耗量を示す。

核燃料物質の管理状況

2025年 1月 ～ 6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 4号炉
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事 項		濃 縮 ウ ラ ン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期 首 在 庫		568,728	7,144	5,984
期中増加	受 入 れ	33,140	1,345	0
	プルトニウム生成			133
	その他の増加	0	0	0
調 整		0	-1	-1
計		601,868	8,488	6,116
期中減少	払 出 し	0	0	0
	核 的 損 耗	775	401	
	廃棄又は損失	0	0	0
	事 故 損 失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期 末 在 庫		601,093	8,088	6,116
調 整		0	-1	0
計		601,868	8,488	6,116
期 末 保 管 委 託		0	0	0
期 末 運 搬		0	0	0

一 次 冷 却 材 報 告 書

2025 年度 第 1 四半期分

玄海原子力発電所 3 号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h
4 月	最 高	-	-	-	-	-	-
	最 低	-	-	-	-	-	-
	平 均	-	-	-	-	-	-
5 月	最 高	-	-	-	-	-	-
	最 低	-	-	-	-	-	-
	平 均	-	-	-	-	-	-
6 月	最 高	291.7	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.3	15.69	60,100	291.7	15.41	60,100
	平 均	289.1	15.69	60,100	317.4	15.41	60,100

一 次 冷 却 材 報 告 書

2025 年度 第 1 四半期分

玄海原子力発電所 4 号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h
4 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.8	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
5 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.9	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
6 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.8	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

環境放射能測定結果

(2025 年度第 1 四半期分)

2025 年 7 月

九州電力株式会社

第2025-1回

積算線量測定結果（モニタリング・ポイント）

1 測定条件

(1) 測定素子 ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1)

(2) 測定期間

2025年 4月 2日 ~ 2025年 7月 2日 (A)

2025年 4月 3日 ~ 2025年 7月 3日 (B)

A : 91日間 (2184時間)

B : 91日間 (2184時間)

(3) 事前アニール 実施年月日 2025年 4月 1日

実施場所 環境放射能測定室

(4) 読取条件 読取日時 2025年 7月 2日18時30分～

2025年 7月 3日 18時26分

読取場所 環境放射能測定室

リーダ 旭テクノグラス FGD-202

(5) 備考

な し

2. 測定結果

ポイントNo. (場所)	積算線量 (mGy)		線量率換算値		備 考
	測定値	91日間換算値	nGy/h	mGy/y	
P-1 (岸壁側)	0.11	0.11	50	0.44	B
P-2 (展示館)	0.13	0.13	61	0.53	B
P-3 (ステーション)	0.12	0.12	54	0.47	B
P-4 (ダム北)	0.11	0.11	52	0.45	B
P-5 (ダム南)	0.11	0.11	52	0.46	B
P-11 (九電今村寮)	0.13	0.13	59	0.51	B
P-12 (外 津)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-13 (中 通)	0.13	0.13	61	0.53	B
P-14 (旧値賀第1コミュニティセンター)	0.11	0.11	51	0.45	B
P-15 (池 崎)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-16 (串 崎)	0.11	0.11	52	0.46	B
P-17 (仮 立)	0.12	0.12	54	0.47	B
P-31 (串 浦)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-32 (値賀川内)	0.12	0.12	57	0.49	B
P-33 (浜野浦)	0.11	0.11	50	0.44	B
P-34 (米納戸)	0.12	0.12	53	0.46	B
P-51 (名護屋)	0.11	0.11	49	0.42	B
P-52 (小加倉)	0.11	0.11	52	0.46	B
P-53 (仮屋公民館)	0.14	0.14	64	0.56	B
P-54 (有浦コミュニティセンター)	0.12	0.12	54	0.47	B
P-72 (石 原)	0.12	0.12	55	0.49	B
P-73 (加部島B)	0.11	0.11	49	0.43	A
P-91 (加唐島B)	0.13	0.13	58	0.51	A
P-92 (馬渡島B)	0.12	0.12	54	0.47	A

第 2025 - 1 回
空間線量率測定結果 (サーベイルート)

1. 測定条件

測定器 : モニタリングカー フィールドモニタ (3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器)

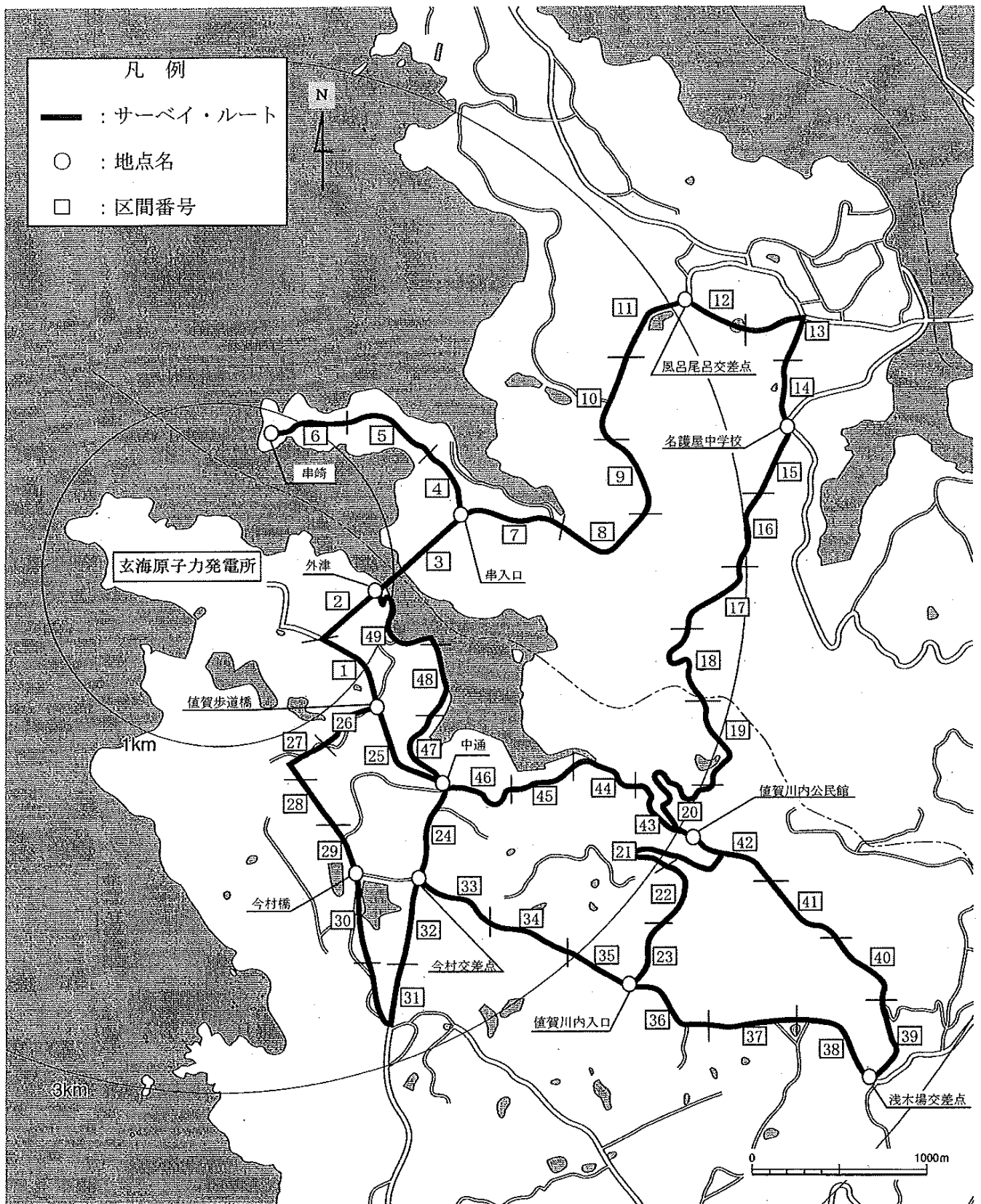
測定年月日 : 2025 年 6 月 4 日

天 候 : 晴れ

2. 測定結果

区間名	区間 No	平均値 (nGy/h)	備 考	区間名	区間 No	平均値 (nGy/h)	備 考
値賀歩道橋 ↓	1	24		中 通 ↓	25	23	
外 津	2	24		値賀歩道橋	26	23	
外 津 ↓	3	23		値賀歩道橋 ↓	27	23	
串入口	4	23		今村橋	28	24	
串入口 ↓	5	20			29	24	
串 崎	6	22		今村橋 ↓	30	24	
	7	24		今村交差点	31	24	
串入口 ↓	8	26			32	23	
風呂尾呂交差点	9	22		今村交差点 ↓	33	25	
	10	21		値賀川内入口	34	24	
	11	21			35	24	
風呂尾呂交差点 ↓	12	23		値賀川内入口 ↓	36	23	
名護屋中学校	13	31		浅木場交差点	37	24	
	14	25			38	24	
名護屋中学校 ↓	15	21		浅木場交差点 ↓	39	22	
値賀川内公民館	16	20		値賀川内公民館	40	22	
	17	20			41	23	
	18	22			42	24	
	19	24		値賀川内公民館 ↓	43	23	
	20	25		中 通	44	24	
値賀川内公民館 ↓	21	25			45	24	
値賀川内入口	22	22			46	24	
	23	21		中 通 ↓	47	25	
今村交差点 ↓	24	24		外 津	48	23	
中 通					49	22	
				ルート全体		23	

空間線量率測定 サーベイ・ルート図



第2025-1回

環境試料の放射能測定結果

1 測定条件

(1) 核種分析

- a 測定器 Ge (Int) 多重波高分析装置
(セイコー・イージーアンドジー MCA-7a)
低バックグラウンド放射能自動測定装置
(日立製作所 LBC-4602)
低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置
(日立製作所 LSC-LB8)
- b 測定期日 2025年 4月 1日 ～ 2025年 6月30日
- c 測定方法 放射能測定法シリーズ (文部科学省)
「放射性ストロンチウム分析法」 (平成15年4訂)
「放射性ヨウ素分析法」 (平成8年2訂)
「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」
(令和2年4訂)
「環境試料採取法」 (昭和58年)
「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の
前処理法」 (昭和57年)
「トリチウム分析法」 (令和5年3訂)
に準じた。

2. 測定結果

分類	試料名	採取年月日	核種別放射能強度							備考
			単位	⁹⁰ Sr	¹³¹ I	¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	⁶⁰ Co	³ H	
海産生物	たい (発電所から10km圏内の海域)	2025.6.6	Bq / kg 生	-	-	ND	0.084	ND	-	
	いか (")	2025.6.4	"	-	-	ND	ND	ND	-	
	さざえ (八田浦周辺)	-	"	-	-	-	-	-	-	
	なまこ (")	-	"	-	-	-	-	-	-	
	わかめ (")	2025.4.8	"	ND	ND	ND	ND	ND	-	
海底土	ほんだわら類 (")	2025.4.22	"	ND	ND	ND	ND	ND	-	
	1・2号放水口付近	-	Bq / kg 乾	-	-	-	-	-	-	
	1・2号取水口付近	-	"	-	-	-	-	-	-	
	3・4号放水口付近	-	"	-	-	-	-	-	-	
	3・4号取水口付近	-	"	-	-	-	-	-	-	
海水	1・2号放水口付近	2025.4.7	mBq / l	0.60	ND	ND	1.9	ND	ND	³ Hの単位はBq/l
	1・2号取水口付近	2025.4.7	"	0.77	ND	ND	2.1	ND	ND	
	3・4号放水口付近	2025.4.7	"	-	ND	ND	1.8	ND	ND	
	3・4号取水口付近	2025.4.7	"	-	ND	ND	1.7	ND	ND	
	ダム水	-	"	-	-	-	-	-	-	
陸水	志礼川 (値賀浄水場)	2025.5.20	"	-	ND	ND	ND	ND	-	
土壌	岸壁側	2025.4.1	Bq / kg 乾	-	-	ND	6.4	ND	-	
	正門南	2025.4.1	"	0.84	-	ND	8.1	ND	-	
	九電今村寮	2025.4.1	"	1.7	-	ND	8.3	ND	-	
	ダム底土	2025.4.1	"	0.26	-	ND	4.7	ND	-	
	米 (普恩寺)	-	Bq / kg 生	-	-	-	-	-	-	
植物	米 (下室)	-	"	-	-	-	-	-	-	
	かんしよ (普恩寺)	-	"	-	-	-	-	-	-	
	かんしよ (今村)	-	"	-	-	-	-	-	-	
	松葉 (敷地内)	2025.5.12	"	0.079	ND	ND	ND	ND	-	
	ほうれん草 (今村)	2025.4.15	"	-	ND	ND	ND	ND	-	
畜産物	牛乳 (浜野浦)	2025.5.13	Bq / l	-	ND	ND	ND	ND	-	
浮遊じん	正門南	2025.3.31 ~ 2025.6.30	mBq / m ³	-	-	ND	ND	ND	-	

(注) ND --- 検出限界未満を示す。

発電所職員等に対する教育訓練の実施状況
(2025年度 第1四半期分)

I. 玄海原子力発電所九電社員

(1/4)

区分	場所	項目	内 容		対 象 者	実 績		備 考
						実施時期	人 数	
職 場 外	原子力発電訓練センター	初期訓練	原子力関係基礎理論教育（講義） 各設備機器の構造機能教育（講義） 運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）		プラント管理課員 発電第二課員	2025/4～6	4	前期より継続及び 来期へ継続
		再 訓 練	一 般 コ ー ス	運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）		—	—	
			上 級 コ ー ス	運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）		—	—	
			監 督 者 コ ー ス	監督者の指揮命令、判断能力の訓練 （講義及びシミュレータ訓練）		—	—	
			実技試験 コ ー ス	運転操作訓練 監督者の指揮命令、判断能力の訓練・試験 （講義及びシミュレータ訓練）		2025/4	3	
	メー カ ー	保守技能 研 修	一・二次系、制御、電気設備に関する知識・保守技術の 習得		設備管理課員 保守第二課員	2025/6	5	
		品質管理 研 修	非破壊検査に関する知識・検査技術の習得			—	—	
	日研 本開 発機 力構	原 子 力 基礎研修	原子炉研修一般課程、基礎課程、放射線防護基礎コース 等のコースによる原子力に関する知識・技術の習得		技術系要員	2025/6	1	
	発 電 所	保安規定 教 育	原子炉施設保安規定の理解と遵守事項の周知		全 所 員 （所長は除く）	—	—	
		放 射 線 防護教育	放射線防護に関する知識の習得、遵守事項の周知		放射線業務従事者	—	—	
		防災教育	防災組織等に関する知識の習得、防災意識の高揚		全 所 員 （所長は除く）	—	—	
		安全協定 教 育	安全協定の内容に関する周知 社会の動向、安全協定等		全 所 員	—	—	
		消防訓練 （防火・ 防災対応）	火災発生時、災害等発生時に自衛消防組織による迅速な 消火活動及び避難等が十分機能することの確認		全 所 員 （当直は除く）	—	—	

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職場外教育	発電所	避難、救助訓練	傷病者発生時の救急活動及び原子力災害時の避難活動が的確かつ迅速に処置できることの確認	全 所 員 (当直は除く)	—	—	
		原子力防災訓練	非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置並びに防災体制、組織が総合的に機能することの確認		—	—	
		火災防護、内部溢水、火山影響等、その他自然災害対応教育	火災、内部溢水、火山影響等及びその他自然災害(地震、津波及び竜巻等)発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		有毒ガス発生時の対応教育	有毒ガス発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		通報連絡訓練	異常発生時等に社内外の関係先への確かつ迅速に通報連絡できることの確認	関 係 者	—	—	
		危険物保安教育	危険物の取扱い及び防火管理に関する意識の高揚		—	—	
		アクシデントマネジメント教育	重大事故等及び大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	2025/6	4	
		要員養成教育	原子力訓練センターにおける訓練	設備管理課員 保守第二課員 発電第二課員	2025/6	61	
			安全作業及び品質管理教育	関 係 者	2025/4	129	
		導入教育	新入社員教育 〔発電所の概要及び従事者として必要な安全協定等の机上教育並びに実務教育〕	新入社員全員	2025/5、6	21	来期へ継続
			転入社員教育 〔発電所の従事者として必要な保安規定、安全協定並びに品質保証等の机上教育〕	転入社員全員	2025/4～6	24	
			放射線業務従事者指定時等の放射線管理教育	放射線業務従事者に指定する者	2025/4～6	24	
職場内教育		要員養成教育	技術系各課の業務遂行に必要な実務教育	技術系各課配属者	2025/4～6	配属者 全員	前期より継続及び来期へ継続
			緊急処置訓練 (模擬操作訓練及び処置の検討)	プラント管理課 発電第二課 当直員全員	プラント管理課 (1回/2ヵ月) 発電第二課 (1回/月)	プラント管理課 及び 発電第二課 当直員全員	

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育	発 電 所	成立性確認 訓練	重大事故等対応に係る成立性を確認するための訓練	運転員、運転対応要員、 保守対応要員、緊急時対策本部要員（指揮者等）、 特重施設要員	2025/6	366	
		重大事故等 発生時の対応に係る総合的な訓練	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な 対応操作等の総合的な訓練	運転員、重大事故 等対策要員、緊急 時対策本部要員、 特重施設要員	—	—	
		大規模損壊 発生時の対応に係る総合的な訓練	大規模損壊発生時のプラント状況の把握、情報収 集、的確な対応操作の選択及び緊急時対策本部要 員指揮者等、特重施設要員及び専属自衛消防隊と の連携を含めた総合的な訓練	任意の緊急時対策 本部要員（指揮者 等）、特重施設要 員、専属自衛消防 隊	—	—	
		アクシデント マネジメント訓練	大規模損壊発生時に通常の指揮命令系統が機能し ない場合等の事態を想定した教育訓練	所長、原子炉主任技 術者、緊急時対策本 部要員（指揮者等）、 発電第二課長、保守 第二課長 他	2025/6	8	
		力量維持 訓練	重大事故等及び大規模損壊発生時に、適切に対応 できるように力量を維持するための訓練	保守対応要員、緊 急時対策本部要員 （指揮者等を除く）	2025/6	109	
		緊急処置 訓練 （特重施設）	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝 突等による大規模損壊発生時における各種緊急事 象の発生に対する模擬操作訓練及び処置の検討	特重施設要員	2025/4～6	626	
		特重施設の 操作に係る 成立性確認 訓練	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝 突等による大規模損壊発生時における特重施設に よる対応操作を確認する訓練	特重施設要員	—	—	
		特定核燃料 物質防護 対策教育	核物質防護設備の運用及び異常時の措置に関する 知識の習得、核物質防護に対する意識の高揚	全 所 員	—	—	
職場内教育		特定核燃料 物質防護 対策訓練	発電所防護上の緊急時に社内外への迅速な通報連 絡及び対応等の所要の措置を講ずることができる ことの確認	関 係 者	—	—	

Ⅱ. 協力会社玄海事業所従業員

(4/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
協力会社への教育	発電所	安全衛生協議会	安全衛生管理の推進を図るため、災害防止等の安全確保意識の啓蒙と相互間の連絡、調整	〔玄海原子力発電所の管理職〕 安全衛生協議会加盟会社の責任者	2025/4～6	56～58	
		避難・救助訓練	救急処置の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の放射線管理責任者及び作業責任者	—	—	
		消防訓練 (防火・防災対応)	消火活動、防災活動の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の従業員	—	—	